

VR技術を用いた中学生向け認知症講座を開催

古賀市では、市内全小・中学校（小5、中1）で認知症サポーター養成講座を行ってきましたが、介護にあまり携わっていない若年層は、説明を聞くだけで「自分事」として捉えるのが難しいのが現状です。

そこで、講義とあわせて認知症VRを用いた講座にすることで、認知症を患っている人が実際に見えている世界を疑似体験することができます。講座を通して認知症に対する理解を深め、将来認知症の人たちを温かく見守る地域の地域の一員が増えることを期待しています。

■実施日時、開催場所など

・実施日時

令和4年12月7日（水）9時～12時50分 古賀中学校

12月8日（木）② 9時～12時50分 古賀北中学校

12月8日（木）③14時25分～16時15分 古賀東中学校

※それぞれ各校の体育館で開催

■目的

VR機器を活用することで、認知症の人が日々の暮らしの中で実際に見えている世界を疑似体験することができます。認知症を「自分事」として捉え、将来サポーターとして認知症の人を温かく見守る地域の一員になり、認知症に対する理解が深まることを期待しています。

■委託先

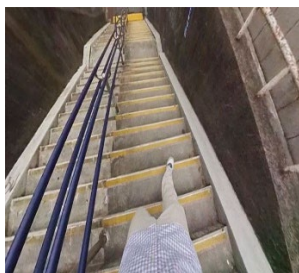
㈱朝日新聞社総合プロデュース本部



■実施内容

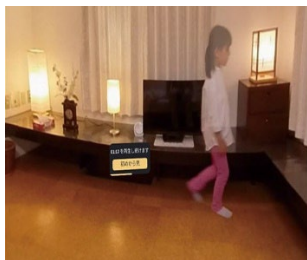
VR動画は、現実の臨場感に近く認知症の人の視点を体験することができます。

【階段を降りる（2分19秒）】



空間を把握する認識能力などが低下し、段差が降りづらい感覚を視認できます。認知機能の低下した人が階段などの段差で躊躇する理由の一端が理解できます。

【幻視が見える（2分5秒）】



主にレビー小体型認知症に特徴的に現れるとされる幻視を再現しています。比較的多いとされる子ども幻が見える状況を実感できます。

【自動車の運転（2分46秒）】



認知機能が低下した人の運転状況を再現しています。距離感がつかみづらくなることで、交差点など運転操作に戸惑い車に衝突しそうになります。認知機能が低下した高齢者にも起こることがある高齢者てんかんによって、一瞬意識を失う状況も体感できます。

【問い合わせ先】

古賀市役所 福祉課福祉相談係 担当：吉武、山石
電話：092-942-1156